

人間のもつ根元的な3つの悪【貪・瞋・痴】=三毒

貪り

	タイトル(書名)	章:節 聖句	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K	エレミヤ書	8:10 それゆえ、わたしは彼らの妻を他人に渡し／彼らの畑を征服する者に渡す。身分の低い者から高い者に至るまで／皆、利をむさぼり／預言者から祭司に至るまで皆、欺く。	
S	ローマの信徒への手紙	7:7 では、どういうことになるのか。律法は罪であろうか。決してそうではない。しかし、律法によらなければ、わたしは罪を知らなかったでしょう。たとえば、律法が「むさぼるな」と言わなかったら、わたしはむさぼりを知らなかったでしょう。	
S	ローマの信徒への手紙	7:8 ところが、罪は掟によって機会を得、あらゆる種類のむさぼりをわたしの内に起こしました。律法がなければ罪は死んでいるのです。	

怒り

	タイトル(書名)	章:節 聖句	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S	使徒言行録	26:11 また、至るところの会堂で、しばしば彼らを罰してイエスを冒瀆するように強制し、彼らに対して激しく怒り狂い、外国の町にまでも迫害の手を伸ばしたのです。」	
S	ヨハネの黙示録	11:18 異邦人たちは怒り狂い、／あなたも怒りを現された。死者の裁かれる時が来ました。あなたの僕、預言者、聖なる者、／御名を畏れる者には、／小さな者にも大きな者にも／報いをお与えになり、／地を滅ぼす者どもを／滅ぼされる時が来ました。」	

恨み

	タイトル(書名)	章:節 聖句	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K	創世記	27:42 ところが、上の息子エサウのこの言葉が母リベカの耳に入った。彼女は人をやって、下の息子のヤコブを呼び寄せて言った。「大変です。エサウ兄さんがお前を殺して恨みを晴らそうとしています。	
K	創世記	50:15 ヨセフの兄弟たちは、父が死んでしまったので、ヨセフがことによると自分たちをまだ恨み、昔ヨセフにしたすべての悪に仕返しをするのではないかと思った。	
K	エレミヤ書	51:35 「わたしと、わたしの肉親が受けた暴虐が／バビロンの上にもふりかかるように」と／シオンの女たちは言い／「わたしの血の恨みが／カルデアの住民にもふりかかるように」と／エルサレムは言う。	

愚か

	タイトル(書名)	章:節 聖句	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K	民数記	12:11 アロンはモーセに言った。「わが主よ。どうか、わたしたちが愚かにも犯した罪の罰をわたしたちに負わせないでください。	
K	ヨブ記	35:16 ヨブは空しく口数を増し／愚かにも言葉を重ねている。	

貪瞋痴 とんじんち 人間を悩まし迷わせて害し、誤りに導く、根本的な3種の煩惱のこと = 三毒
 三昧 ざんまい 一心不乱にある事をする事

三毒 = 貪(とん:むさぼり)・瞋(じん:怒り恨み)・痴(ち:愚かさ)

三

昧 → 昧(くら)ます

【参考】罪—sin と sins の違いは？

- ▶法律用語での「罪」→犯罪 crime、法律違反：offence
 - 日本人は、「罪≒罰≒犯罪」と感じ、言葉に抵抗感がある。
- ▶聖書の中での「罪」→・アダムとエバから受け継がれた罪（原罪）により、人間に入り込んだもの
 - ・的外れ（創造主から離れている、背を向けている）
 - ・英語の sin（原義：神のおきてにそむくこと）を邦訳した語→ sin / sins
- ▶聖書の中で「罪」は→・罪とは、法に背くことです。（I ヨハネ 3:4b）
 - ・背き・咎（=不義）（詩編 32:5）
 - ・道を誤り、自分勝手に歩むこと（イザヤ 53：6）
 - ・悪い思い（マタイ 5:28）
 - ・神や隣人を第一としないこと（マタイ 22：37～40）
 - ・人の内面から出てくるもの（マルコ 7:20～23）
 - ・神の基準に達しないこと（ローマ 3：23）
 - ・神の律法に背くこと（ローマ 5:13）
- ▶日本語聖書では「罪」という表記がされているが、英語版聖書を見ると別の表記となっている多い。
 - condemn：非難する／blaspheme：侮辱する／sinful：罪深い／sinner：罪人／trespass：侵入
 - fault：不具合／offend：怒る／offence：犯罪／transgression：犯罪／sinneeth：罪を犯す

※仏教：煩惱→心身を煩わし悩ませる一切の迷いの心→煩惱の犬は追えども去らず

